

令和3年度 事業報告

概要

本財団は、昭和44年（1969）の設立以来、事業目的である京都市域の文化観光資源の保護を図り、保護思想の普及に努め、京都市の文化観光の発展と文化的向上に取り組んできた。

当年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、四大大行事をはじめとする多くの伝統行事、伝統芸能が中止あるいは大幅な規模縮小に追い込まれ、当財団の公益目的事業である文化観光資源保護事業、普及啓発事業及び会員事業についても、事業計画の変更を余儀なくされた。

文化観光資源保護事業の助成事業では、募集要項にもとづき事前相談、申請受付を行い、ほぼ例年通りの申請を受理したものの、文化観光資源保護事業のうち、修理事業以外の伝統行事、伝統芸能の執行事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ごく一部を除き中止や規模縮小となった。

そんな中「祇園祭の山鉦巡行」については、昨年は榊による徒歩巡行のみであったが、今年は半数ほどの保存会において「山鉦建て」を行い、さらに1826年を最後に休止していた後祭りの「鷹山」が、山本体をほぼ復元され、無事曳き初めの確認もされるという前向きな出来事もあった。

また、京都五山送り火は昨年同様、各山1点から6点の点火という大幅な縮小となったが、無事点火することができた。

各保存会等ではぎりぎりまで行事の執行を模索し、準備を整えていたため、相応の出費を行っていることもあり、事業報告書の提出を受けて助成金を交付し、保護事業者の財政負担の軽減につとめた。

文化観光資源保護普及啓発事業では、従来の普及啓発活動に加え、新たな取り組みとして、若い世代や子供たちへのアピールを強めることと、地域に根差した活動を行うことに力を入れた。その一環として、文化庁予算をとり、伝統文化親子教室と京都市の区役所と連携し地域に密着した子供向けの事業を実施した。

また、当財団の認知度アップのため広報活動に力を入れた。ポスター、リーフレットの作成及び財団ウェブサイトの全面改訂を行った。新たなSNSでの情報発信にも着手し、事業の啓発と京都の文化観光資源の紹介、普及に努めた。その他においても、ほぼ計画どおりの事業を実施した。

会員事業では、寄附規程を改訂し、寄附金額の増加と新規会員の獲得を目指した。例年であれば会員を招待していた三大祭観覧は、中止とせざるをえなかったが、感染

症予防対策をとりながら文化財講演会を開催するなど、工夫をしながら事業を行った。

法人運営については、公益財団法人として情報公開や公益法人制度関係法並びに定款に則った適正な運営につとめた。また、募金活動では、遺贈にかかる金融機関との協定締結を行うなど、新たな形の寄附の獲得を目指した。また、会員及び広い市民層に対し更なる支援、協力の呼びかけを行った。

個別事業の詳細は、以下のとおり。

I. 文化観光資源保護事業（公益目的事業1）

1. 助成事業

（1）対象事業

令和3年度に実施された下記の保護事業で、当財団が定める「文化観光資源保護事業助成金交付対象選定基準」に該当した事業

本年度も新型コロナウイルス感染症対策により大半の伝統行事・芸能が中止あるいは大幅に縮小されたことにより助成額も予定より減額することとなった。

1) 文化財所有者、管理者等の行う文化観光資源保護事業に対する助成

文化財の所有者、管理者等が行う文化財や観光資源である建造物、美術工芸品及び史跡、名勝、天然記念物の保全を行う各事業

2) 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行に対する助成

伝統行事、伝統芸能を保存伝承する保存団体が記録作成、後継者の養成、衣装・用具、収蔵・施設の修理新調を行う各保護事業並びに執行・公開を行う各事業

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備に対する助成

寺院、神社等の環境保全、文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備を行う自然環境の各事業

4) 文化観光資源施設の整備に対する助成

文化財所有者や管理者等が行う文化財や観光資源を災害から守るための防災施設の設置・改修、収蔵施設等の設置・整備を行う文化観光資源を保護するための各事業

（2）申請の応募，受付

ウェブサイト等で申請の応募を行い、事前相談（3月1日～31日）及び申請書の受付（4月30日提出期限）を行った。

（3）専門委員会の開催、助成対象の選定

○日時 令和3年12月3日

○出席者 尼崎博正委員、小椋純一委員、奥平俊六委員、高橋康夫委員、

伊達仁美委員 以上5名

○決議事項

第1号議案 専門委員会委員長及び副委員長の選任について

第2号議案 令和3年度文化観光資源保護事業助成対象の選定について

1) 文化財所有者、管理者等の行う文化観光資源保護事業

2) 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行事業

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備事業

(4) 助成金の交付決定、事業報告

専門委員会において、選定された49件（内、9件中止）について、12月16日付
けで助成額を決定（理事長決定）し、各申請者に対し助成金確定通知を送付した。

内訳は、以下のとおり。

また、申請者には保護事業報告書の提出（3月末期限）を求めた。

助成申請件数 49件（内9件中止） 助成額合計 3,801万円

(内 訳)

1) 文化財所有者、管理者等の行う文化観光資源保護事業（申請6件） 助成額 375万円
単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	申請額	助成額	備考
眞如寺（北区）	法堂修理事業	663	70	70	
岩屋寺（山科区）	本堂修理事業	4,579	70	70	
毘沙門堂（山科区）	建具修理事業	76	25	25	
市比賣神社（下京区）	木製獅子狛犬修理事業	290	70	70	
城興寺（南区）	木造薬師如来立像	278	70	70	
念仏寺（右京区）	鉄造阿弥陀如来坐像修理事業	210	70	70	
小 計		6,096	375	375	

2) 伝統行事、伝統芸能保存及び執行事業（申請42件、内9件中止） 助成額 3,172万円

○伝統行事・芸能保存事業（申請2件）

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	申請額	助成額	備考
(公財)祇園祭山鉦連合会	祇園祭山鉦修理事業	691	228	222	
京都五山送り火連合会	各山火床整備事業	1,602	380	380	
小 計		2,293	608	602	

○伝統行事・芸能執行事業（申請40件、内9件中止）

・伝統行事執行事業（申請18件、内7件中止）

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	申請額	助成額	備考
葵祭行列協賛会	葵祭行列の執行	714	675	235	行列中止、衣装修理
祇園祭協賛会	祇園祭山鉾巡行 //	5,749	2,050	1,537	山鉾建て、櫛巡行
京都五山送り火協賛会	京都五山送り火点火 //	1,590	650	455	規模縮小
時代祭協賛会	時代祭行列 //	—	—	—	中止
嵯峨お松明保存会	嵯峨お松明行事 //	—	—	—	中止
賀茂競馬保存会	賀茂競馬 //	215	25	13	中止、衣装修理
藤森神社駄馬保存会	藤森駄馬 //	330	25	16	規模縮小、無観客
糺の森流鏝馬神事等保存会	糺の森流鏝馬 //	242	25	13	中止、用具類修理
鞍馬山竹伐り会式保存会	鞍馬竹伐り会 //	—	—	—	中止
花脊松上げ保存会	花脊松上げ //	15	25	5	中止、用具類修理
広河原松上げ保存会	広河原松上げ //	56	25	13	中止、用具類修理
雲ヶ畑松上げ保存会	雲ヶ畑松上げ //	—	—	—	中止
小塩上げ松保存会	小塩上げ松 //	—	—	—	中止
烏相撲保存会重陽社	烏相撲 //	17	10	5	中止、用具類修理
西之京瑞饋神輿保存会	西之京瑞饋祭 //	263	25	25	巡行中止、居祭
北白川伝統文化保存会	北白川高盛御供 //	—	—	—	中止
日野裸踊保存会	日野裸踊 //	—	—	—	中止
鞍馬火祭保存会	鞍馬火祭 //	145	200	48	中止、用具類修理
小計		9,336	3,735	2,365	

・伝統芸能公開事業（申請22件、内2件中止）

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	申請額	助成額	備考
蹴鞠保存会	蹴鞠の公開	31	20	10	限定公開
壬生大念仏講	壬生狂言 //	159	15	10	限定公開
神泉苑大念仏狂言講社	神泉苑狂言 //	63	15	8	限定公開
千本ゑんま堂大念仏狂言保存会	千本ゑんま堂狂言 //	77	15	15	限定公開
嵯峨大念仏狂言保存会	嵯峨狂言 //	65	15	15	限定公開
久世六斎保存会	久世六斎 //	25	15	8	限定公開
京都中堂寺六斎会	中堂寺六斎 //	35	15	8	限定公開

梅津六斎保存会	梅津六斎 〃	34	15	8	限定公開
小山郷六斎念仏保存会	小山郷六斎 〃	45	15	10	限定公開
千本六斎会	千本六斎 〃	47	15	15	無観客開催
壬生六斎念仏講中	壬生六斎 〃	55	15	15	限定公開
嵯峨野六斎念仏保存会	嵯峨野六斎 〃	—	—	—	中止
西方寺六斎念仏保存会	西方寺六斎 〃	50	10	8	無観客開催
上鳥羽橋上鉦講中	上鳥羽六斎 〃	30	10	8	限定公開
川上やすらい踊保存会	川上やすらい花 〃	—	—	—	中止
今宮やすらい会	今宮やすらい花 〃	49	13	13	巡行中止、居祭
玄武やすらい踊保存会	玄武やすらい花 〃	53	13	13	巡行中止、居祭
上賀茂やすらい踊保存会	上賀茂やすらい花 〃	18	6	6	規模縮小
久多花笠踊保存会	久多花笠踊 〃	35	25	11	規模縮小
八瀬郷土文化保存会	八瀬赦免地踊 〃	74	20	10	規模縮小
(公財)松ヶ崎立正会	松ヶ崎題目踊 〃	15	10	5	中止、用具類修理
番匠保存会	番匠儀式 〃	27	9	9	規模縮小
小 計		987	286	205	

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全事業（申請1件） 助成額 254万円
単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	申請額	助成額	備考
(公財)京都古文化保存協会（上京区）	文化財周辺松喰虫等駆除事業	778	254	254	
小 計		778	254	254	

単位：万円

	助成申請件数	事業費	申請額	助成額	備考
合 計	49件	19,490	5,258	3,801	内9件中止

2. 文化観光資源に関する調査研究並びに情報の収集及び提供

(1) 当年度助成申請のあった文化観光資源保護事業等の現地調査及び資料収集、写真記録を行い、事務局において調査報告書を作成し専門委員会に文化観光資源保護事業選定資料として提出した。また、各修理状況等の事業内容をデータ化して、記録保存し今後の保護、伝承のための資料として供することとした。

(2) 京都市域の伝統行事、伝統芸能の公開時の記録及び文化財指定を受けていない文化観光資源について、資料収集や写真記録を行い、今後の保存・保護を図るうえでの資料として活用することとした。

(3) 文化財保護関係機関等との連絡協議

文化財保護関係機関で構成する文化財防災対策連絡会に参加し、京都の文化観光資源保護に関する情報の交換や収集等を行い実態把握につとめたが、本年度は多くが書面による検討会議となった。

また、葵祭、祇園祭、京都五山送り火、時代祭の四大大行事の各協賛会等の会議も書面により実施された。

ア 文化財防災対策連絡会（令和3年度事務局 京都市文化財保護課）

開催日：第1回 7月12日 第2回 11月25日 第3回 3月4日（書面会議）

京都府教育庁指導部文化財保護課、同文化スポーツ部文化政策室、同府民生活部災害対策課、同警察本部生活安全部生活安全企画課、同警備第一課、京都市消防局予防部予防課、同都市計画局都市景観部景観政策課、同文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課、公益財団法人京都文化財団、公益財団法人京都古文化保存協会、京都大阪森林管理事務所、当財団の12者で構成し、文化財の防災等に関する情報交換を行った。

イ 四大大行事（葵祭、祇園祭、京都五山送り火、時代祭）協賛会並びに総合打ち合わせ会議

例年、円滑な行事の執行に向けて、各関係団体で構成する協賛会並びに総合打ち合わせ会議に加わり、協議を行っているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により書面会議となり、四大大行事のすべてが中止あるいは大幅な規模縮小となった。

II. 文化観光資源保護普及啓発事業（公益目的事業2）

1. 文化観光資源公開事業の実施、刊行物の発行

京都の文化財や観光資源の愛護思想の普及啓発につとめることを目的に実施している。当年度は、下記の普及啓発事業を実施した。また、事業を通じて参加者に対し、当財団の事業活動への協力と支援を呼びかけた。

(1) 「京都の歴史と文化 映像ライブラリー」事業

（京都市共催、文化庁補助事業）

ア 京都を題材にその歴史や文化の魅力を伝える」映像作品約160本の動画資産を、画像データのフォーマット変換処理及び権利処理を行い、誰でも気軽に閲覧できるように加工した。令和4年2月に当財団で「京都の歴史と文化 映像ラ

イブラリー」のWebサイトを開設し、公開するとともに、Youtubeチャンネルで公開した。

イ 映像で見る京都のまつり「京都の歴史と文化映像ライブラリー」（公開記念イベント）

(ア) 日 時 令和4年2月19日（土）

会 場 京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）

内 容・講演 「無形文化遺産のデジタルアーカイブについて」

講 師 村上忠喜氏 京都産業大学文化学部教授、

・ライブラリー記録映像の上映 「太秦牛祭」他

解 説 福持昌之氏 京都市文化財保護課技師

参加者数 61名

ウ 「京都の歴史と文化 映像ライブラリー作品紹介」

令和4年3月 1, 000部発行

2. 広報活動の積極的推進

(1) ウェブサイトによる発信事業

令和4年8月に当財団Webサイトを全面改訂した。Webサイトを通じて、京都の文化観光資源や実施事業、活動紹介、「会報」寄稿文などの情報を発信し、内容の充実と更新の頻度を上げ、京都の文化観光資源の保護や活動への協力と支援を広く呼びかけた。また、2月には新たに「京都の歴史と文化 映像ライブラリー」のサイトを開設した。

(2) その他

新たに財団Facebook及びInstagramを開始しSNSでの情報発信に努めた。またポスターを作成し、各社寺、博物館、美術館、京都市地下鉄駅構内などに掲示し、財団活動の認知度アップに努めた。

また、各報道機関に対し、実施事業の広報発表を行った。

3. 伝統行事・伝統芸能功労者表彰事業

京都市域に保存伝承されている伝統行事・芸能の保存と継承に長年にわたり貢献されてきた下記の14名の方々を功労者として、伝統行事・芸能功労者表彰要綱に基づき京都市長、理事長名にて表彰することとなり、表彰式を1月28日、令和3年度第6回通常理事会終了後に行った。

〈令和3年度被表彰者（順不同・敬称略）〉

池田 徳治（烏相撲保存会重陽社） 清水 正次（上高野念仏供養踊保存会）

川本 清（西ノ京瑞饋神輿保存会） 藤本 正美（木野愛宕神社烏帽子着保存会）

松浦 俊昭（壬生大念仏講中） 袖岡 五雄（石座神社奉賛会）
風間 敬博（久世六斎保存会） 佐藤 克実（三栖・炬火会）
西川 好恵（中堂寺六斎会） 中川 正一（小山二ノ講）
田中 宏（壬生六斎念仏講中） 北島 由久（御香宮獅々若会）
東良 邦男（大田神社巫女神楽保存会） 藤木 和子（上賀茂紅葉音頭保存会）

なお、これに先立つ11月8日には新型コロナウイルス感染症対策により延期されていた令和元年度被表彰者11名及び令和2年度被表彰者10名の表彰式もとり行った。

4. 文化観光資源に関する事業の関係機関との連携、後援事業

財団活動を広く周知するために、京都市や他団体と連携した普及啓発に関する事業を展開した。その一環として、京都商工会議所と連携し、京都・観光文化検定試験の受験者に対する働きかけを行った。

また、文化観光資源の所有者、管理者及び保存団体等から依頼のあった文化観光資源保護を目的とした各種事業を後援し支援した。

(1) 令和3年度ふるさと文化財の森「森がよみがえる日本の技術2021公開セミナー」の後援

11月6日～7日 主催：公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会

文化財保護に関わる専門技術の普及を目的に、実演、展示及び体験等が行われた。

(2) 第56回「京の冬の旅」の後援

1月1日～3月21日 主催：公益社団法人京都市観光協会

京都の冬季観光客誘致対策を目的に、非公開文化財の特別公開等が行われた。

(3) 年中行事「鉦始め・木遣音頭」の後援

1月2日 主催：番匠保存会

建築儀式「鉦始め」を行い「木遣音頭」を披露する儀式が行われた。

(4) 「企画展 京都の祭り行事（パネル展示・映像上映）」の後援

2月10日～3月10日 主催：京都ふるさと伝統行事普及啓発実行委員会

京都市登録無形民俗文化財及び「京都をつなぐ無形文化遺産」制度選定「京の年中行事」である京都の祭り行事を、京都府立京都学歴彩館でパネル展示・映像上映することによる普及啓発活動が行われた。

5. 文化庁委託事業の実施

(1) 伝統文化親子教室「京のまつりを体験してみよう・京の文化財体験教室」

文化庁の委託事業「伝統文化親子教室事業」を受託し、次世代を担う子供たちに

京都の伝統文化を体験・習得できる機会を設けた。

○第1回目 7月31日(土) オリエンテーション(於) キャンパスプラザ
親子15組 参加

○第2回目 8月7日(土) 剣鉾差しをやってみよう(於) 京都市立錦林第4
小学校(協力) 吉田剣鉾保存会
親子16組参加

○第3、4、5回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。

(2) 子ども歴史文化探検・体験事業(区役所連携事業)

文化庁の委託事業「子供たちのための伝統文化の体験事業」を受託し、子どもたちが住む地域の文化財に直接触れる体験や地域の民俗芸能・伝統文化を体験してもらうことで、文化財等に対する愛護思想の普及啓発を行った。

○中京区「子ども歴史・文化体験」 8月1日(日) (於) 壬生寺
(協力) 壬生寺、京都市埋蔵文化財研究所、壬生六斎念仏講中
親子20組参加

○山科区「子ども歴史・文化体験」 10月23日(土) (於) 白河街区発掘現場及
び自宅学習(協力) 京都市文化財保護課
発掘現場：親子6組参加 自宅学習：親子34組参加

○南区「子ども歴史・文化体験」 11月23日(火・祝) (於) 西寺跡発掘現場
(協力) 京都市埋蔵文化財研究所
親子18組参加

Ⅲ. 会員事業

1. 「会報」の発行

「会報」は、第131, 132, 133号の3号を各1,300部発行した。京都の文化財や観光資源に関する有識者からの寄稿や事業活動などを詳しく掲載し、すべての会員及び文化財保護関係機関、文化観光資源所有者・管理者、伝統行事・伝統芸能保存団体に送付した。

(1) 「会報」の主な掲載内容は、以下のとおり。

No. (発行月)	主な目次
No.131 (3.8.1付)	特集 伝統建築工匠の技の保存と継承－世界無形遺産登録の技術－「建具製作」技術その② 鶴岡典慶(京都女子大学教授)、

	保護財団の活動
No.132 (3.12.1付)	特集 伝統建築工匠の技の保存と継承－世界無形遺産登録の技術－「建具製作」技術その③ 鶴岡典慶(京都女子大学教授)、保護財団の活動寄稿
No.133 (4.3.1付)	講演録「京都の文化財保護の歴史と現状・課題」前編、独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館名誉館長 佐々木承平、保護財団の活動寄稿

2. 会員事業の実施及び文化観光資源保護普及啓発事業への招待

会員規程に定める会員を対象とした以下の会員事業を計画し、文化観光資源保護普及啓発事業に招待等を行った（一部中止）。

(1) 京の三大祭観覧招待

会員招待事業では、新型コロナウイルス感染症対策により葵祭行列、祇園祭山鉾巡行、時代祭行列の『三大祭』が中止となったため観覧招待は行えなかった。

(2) 京都五山送り火記念「扇子」を申込希望者46名に進呈

*令和3年度は作成されなかったため、バックナンバーを送付。

(3) 「世界遺産『元離宮二条城』－京の文化財観賞－」招待

実施期間 10月7日～11月30日 申込者数 101名

(4) 講演会「京都の文化財保護の歴史と現状、課題」開催

「京都市古文化保存協会主催 令和3年度秋期京都非公開文化財特別公開」にあわせて

実施期間 10月8日 会場 キャンパスプラザ京都第2講義室

申込者数 110名

(5) 京都市観光協会主催「第56回京の冬の旅 非公開文化財特別公開」招待

実施期間 2月1日～2月28日 申込者数 128名

3. 寄附の取組み及び会員登録状況

(1) 寄附者の顕彰

文化観光資源保護協力者感謝状贈呈要綱に基づき、法人1団体及び個人1名の高額寄附者に対して理事長名にて感謝状を贈呈することとし、その贈呈式を令和4年1月28日、令和3年度第6回通常理事会終了後に行った。

文化観光資源保護協力者感謝状贈呈者（敬称略）

（法人の部）伸和建設株式会社 （個人の部）伊勢 初枝

また、新たに、Web版高額寄附者芳名録を作成し、掲示した。

(2) 会員登録状況（令和4年3月31日現在）

会員区分	法人	個人
特別会員	162	196
普通会员	7	183
賛助会員	3	42
計	172	421

注) 新会員規程による会員区分に基づいている。

IV. 法人運営

1. 募金活動

(1) 募金状況

事業活動の基盤強化と市民募金運動の推進として、実施事業を通じて個人寄附の呼びかけを行うとともに、会員に対し追加寄附の協力を呼びかけた。

寄附状況 4,530,500円

京都市文化観光資源保護基金令和3年度末残高

2,233,773,302円

(2) 新たな寄附獲得の取組み

- ・金融機関と「遺贈・寄附等への協力に関する協定」を締結した。（三井住友信託銀行、京都銀行）
- ・新たな財団のファン・新規会員の拡充につとめるため、活動案内パンフレット「ご寄附のお願い」を作成し、事業実施時等に配布し、寄附協力の呼びかけを行った。

2. 会議開催状況

(1) 理事会

第1回みなし理事会（5月19日開催）

議案 定款第17条第2項に基づく評議員会への決議の省略による提案
理事選任の件について

出席等 提案書に対し、理事10名全員の書面による同意の意思表示、監事2名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第2回みなし理事会（6月11日開催）

*令和3年度通常理事会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、みなし理事会となった。

議案 定款第10条、17条に基づく評議員会への決議の省略による提案

- (1) 令和2年度事業報告の承認について
- (2) 令和2年度計算書類の承認について
- (3) 監事の選任について
- (4) 任期満了に伴う理事の改選について
- (5) 令和3年度常勤理事の役員報酬の承認について

定款第9条、35条、40条に基づく理事会への決議の省略による提案

- (6) 「歴史資料の価値発信委員会」への貸付の承認について
- (7) 令和3年度新規事業及び補正予算案の承認について
- (8) 寄附金等取扱規程の一部改定について
- (9) 会員規程の一部改定について
- (10) 顧問の選任について

報告事項 職務執行状況の報告について

出席等 提案書に対し、理事13名全員の書面による同意の意思表示、監事2名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第3回みなし理事会（7月6日付開催）

議案 (1) 理事長（代表理事）選任の件について
(2) 副理事長、専務理事（業務執行理事）、常務理事選任の件について
(3) 顧問選任の件について

出席等 提案書に対し、理事14名全員の書面による同意の意思表示、監事3名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第4回みなし理事会（11月17日付開催）

議案 定款第17条第2項に基づく評議員会への決議の省略による提案
評議員選任の件について

出席等 提案書に対し、理事14名全員の書面による同意の意思表示、監事3名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第5回みなし理事会（12月16日付開催）

議案 定款第17条第2項に基づく評議員会への決議の省略による提案
評議員選任の件について

出席等 提案書に対し、理事14名全員の書面による同意の意思表示、監事3名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第6回通常理事会（1月28日付開催）

議案 (1) 令和4年度事業計画及び収支予算（案）、並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認について
(2) 資産運用の執行方針について
(3) 会計規則の一部改定について

報告事項 ○ 職務執行状況の報告について
○ 理事会・評議員会の開催状況について
○ 中期経営計画について

出席等 理事10名，監事2名
全ての議案が全員の承認により決議された。

(2) 評議員会

第1回みなし評議員会（5月24日開催）

議案 定款第24条に基づく決議の省略による理事の選任について

出席等 提案書に対し、評議員25名全員の書面による同意の意思表示があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

第2回みなし評議員会（6月28日開催）

※ 令和3年度定時評議員会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、定款第24条に基づく決議の省略によるみなし評議員会となった。

議題 (1) 令和2年度事業報告の承認について
(2) 令和2年度計算書類の承認について
(3) 監事の選任について
(4) 任期満了に伴う理事の改選について
(5) 令和3年度常勤理事の役員報酬の承認について

報告事項 職務執行状況の報告について

出席等 提案書に対し、評議員25名全員の書面による同意の意思表示があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

第3回みなし評議員会（11月18日付開催）

議案 定款第24条に基づく決議の省略による 評議員の選任について

出席等 提案書に対し、評議員23名全員の書面による同意の意思表示があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

第4回みなし評議員会（12月27日付開催）

議案 定款第24条に基づく決議の省略による評議員の選任について

出席等 提案書に対し、評議員24名全員の書面による同意の意思表示があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

（3）監事会 5月20日

議案 令和2年4月1日から令和3年3月31日までの業務及び会計一件

出席 監事2名及び専務理事、事務局職員2名

監査意見 (1) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

(2) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認める。

(3) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

3. 役員の変動

（1）第1回みなし評議員会による承認（5月24日付）

就任 理事 志渡澤 祥宏 京都市文化市民局文化財保存・活用担当局長

理事 国本 友利 京都市会文化環境委員会委員長

理事 吉田 良比呂 京都市前副市長

退任 理事 北村 信幸 前京都市文化芸術政策監

理事 平山 賀一 前京都市会文化環境委員会委員長

理事 村上 圭子 前京都市副市長

（2）第2回みなし理事会による承認（6月11日付）

就任 顧問 田中 明秀 京都市会議長

退任 顧問 山本 恵一 京都市会議長

(3) 第2回みなし評議員会による承認(6月28日付)

就任 理事 和田林 道宜、山内 康敬、神山 俊昭、田中 安比呂
加藤 好文、久保田 穰、小林 薫、松本 和加子、志渡澤 祥宏
吉田 良比呂、国本 友利(以上 重任)
理事 土井 伸宏(株京都銀行代表取締役頭取)
岩崎 貢 日本生命保険相互会社常務執行役員
室 博 西日本旅客鉄道(株)執行役員営業本部長
監事 新納(山根木)麻衣子 税理士法人新納会計事務所代表社員
退任 理事 柏原 康夫(株京都銀行名誉顧問)
鬼頭 誠司 日本生命保険相互会社専務執行役員

(3) 第3回みなし理事会による承認(7月6日付)

就任 顧問 戸倉 雅和 日本経済団体連合会会長
退任 顧問 中西 宏明 前日本経済団体連合会会長

(4) 第3回みなし評議員会による承認(11月18日付)

就任 評議員 舟橋 雅美 伏見稲荷大社宮司
評議員 野村 明義 八坂神社宮司
退任 評議員 中村 陽 前伏見稲荷大社宮司
評議員 森 壽雄 前八坂神社宮司

(5) 第4回みなし評議員会による承認(12月27日付)

就任 評議員 鷲尾 隆久 平安神宮宮司
退任 評議員 本多 和夫 前平安神宮宮司

4. 登記事項

理事並びに評議員の変更登記

理事・代表理事 和田林道宜 8月 12日(重任登記)

理事 北村 信幸、村上 圭子、平山 賀一、柏原 康夫、鬼頭 誠司
8月 12日(辞任登記)

志渡澤 祥宏、吉田 良比呂、国本 友利、土井 伸宏、岩崎 貢、
室 博 8月 12日(就任登記)

理事 山内 康敬、神山 俊明、田中 安比呂、加藤 好文、久保田 穰
小林 薫、松本和加子、志渡澤 祥宏、吉田 良比呂、国本 友利
8月 12日(重任登記)

監事	山根木（新納）麻衣子	8月 12日（就任登記）
評議員	中村 陽、森 壽雄、本多和夫	1月 19日（辞任登記）
評議員	舟橋雅美、野村明義、鷺尾隆久	1月 19日（就任登記）

5. 行政庁への届出・提出事項

令和2年度事業報告書等に係る提出	6月 28日付	提出
理事変更の届出	9月 10日付	〃
評議員変更の届出	2月 2日付	〃
令和4年度事業計画書等に係る提出書	3月 8日付	〃